

ニュージーニアル、洋風バス、イナスバス クレーションII、大型バス

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。
この取付説明書をよく読み、正しく本商品を設置してください。

設置前に必ずお読みください

- 設置に際しては、必ずこの取付説明書に従い正しく設置してください。
この取付説明書は浴槽周囲の壁仕上げ完了まで活用します。捨てずに次工程の施工業者の方に手渡してください。
※この取付説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。
 - 「保証書」および「取扱説明書」は貴店名、設置年月日を忘れずに記入の上、必ずお客さまにお渡しください。
 - 人造大理石浴槽、FRP浴槽を処分する場合は、許可を受けている処理業者に依頼するか、破碎の上許可された処理場にて処理してください。
- 24時間バス（浴槽水浄化保温器）に該当する機器は使用しないでください。
※24時間バスに該当する機器を継続して使用すると、浴槽表面の荒れ、退色等を著しく促進する場合があります。

安全のため必ずお読みください

- ここでは設置に際して守らないと人身事故や、家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。
設置前にこの項目をよくお読みいただき、正しく設置してください。

⚠ 注意

- 浴槽の上に乗って作業をしないでください。
※足を滑らせてケガをしたり、浴槽にキズが付く恐れがあります。
- 設置に使用する溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は容器等に記載の注意表示に従って、正しく使用してください。
※使い方を誤ると人体に悪影響を及ぼしたり、使用部材の劣化や損傷の原因になることがあります。
- 2階以上の階に設置する場合は、水漏れによる被害が予想される場所に設置する場合は、必ず防水層を設けてください。防水層の立ち上がりは、浴槽上縁面（フランジ上面）より高く設けてください。また配管取出口は確実に防水処理を行ってください。
※防水工事に不備があると、漏水により家財を汚したり、腐らせる恐れがあります。
- 浴槽と壁・タイルの接合部分は、必ず3mm以上のクリアランスをとり、シリコンシーリングをしてください。
※設置に不備があると漏水したり、タイルや浴槽が破損する恐れがあります。
- 循環釜を取り付ける場合は、循環釜の取付説明書もよくお読みの上、正しく取り付けてください。
※取付けが不十分な場合、漏水により家財を汚したり、腐らせる恐れがあります。
- 洋風バス、大型バスは循環釜の穴あけを行わないでください。
※洋風バス、大型バスは給湯専用です。

表示マークおよび絵表示の説明

◎表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のマークで区別し、説明しています。

⚠ 注意

「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

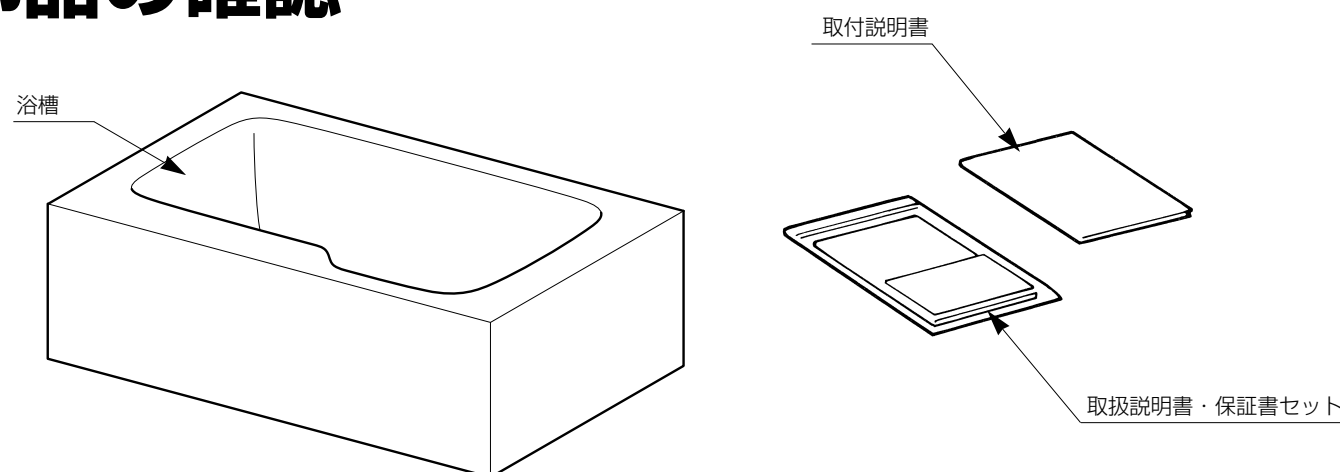


「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

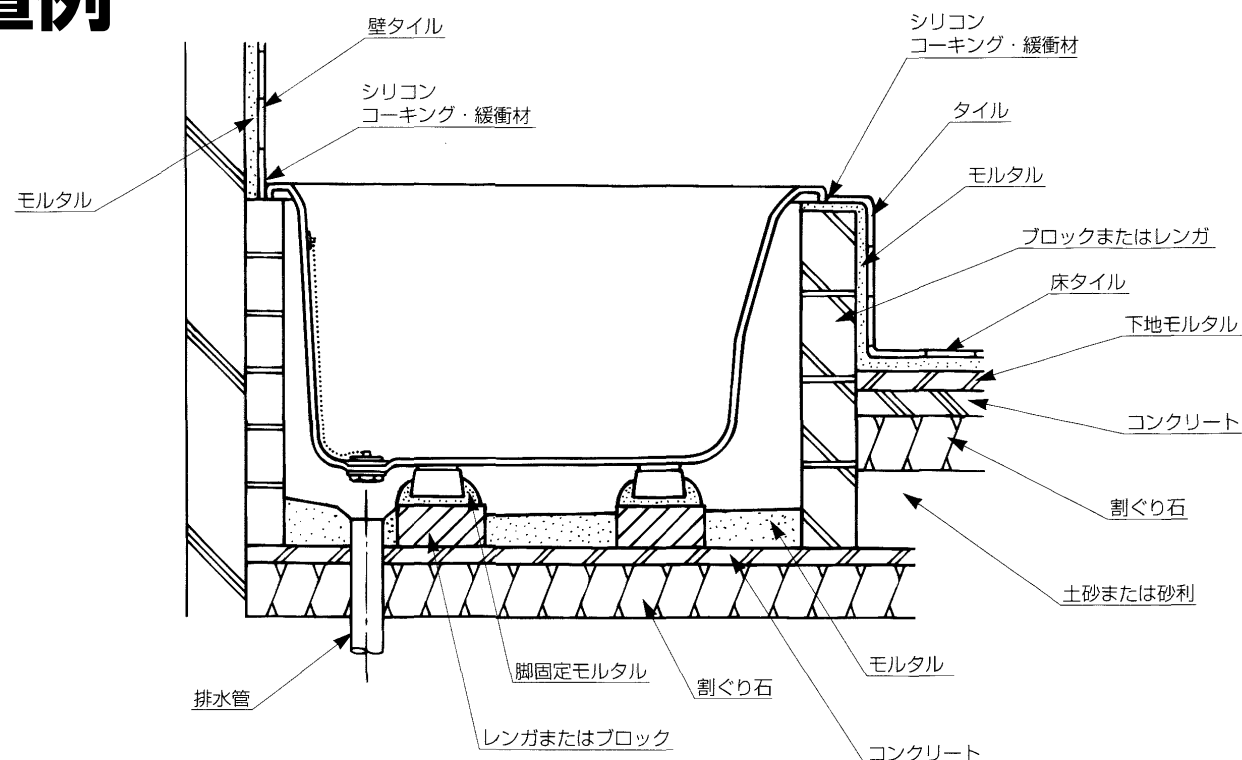


「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

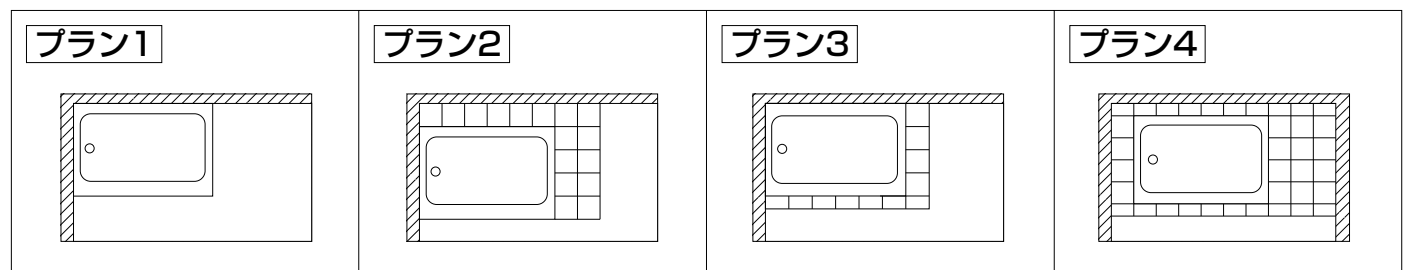
部品の確認



設置例



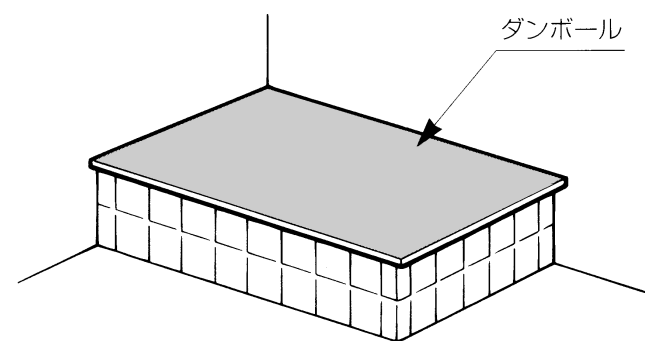
設置プラン



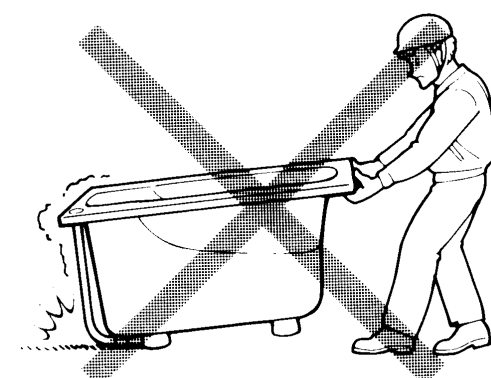
設置前のご注意

● 特に以下のことには注意してください。

- 浴槽本体に破損等がないことを確認してください。
※商品には万全を期してありますが、輸送等で破損している場合があります。
そのような場合は、取扱店へお問い合わせください。
- 設置に必要な部分以外は、できるだけダンボール等で、十分に保護してください。
※浴槽にキズが付く恐れがあります。
- 排水口の固定がゆるんでいないことを確認してください。
※輸送等でゆるんでいる場合があります。
- 必ず搬入経路を確保してください。
また、運搬するときは必要人数を確保し、引きずらないでください。
※浴槽が破損する恐れがあります。
- 壁材との取合いを確認してください。
- 浴槽本体とタイルの接合部分は必ず3mm以上のクリアランスをとり、シリコンシーリングをしてください。
※浴槽の膨張等で、タイルや浴槽が破損する恐れがあります。
- 浴槽の排水金具は間接排水用です。直接排水の場合には、別途直結排水用金具をご発注ください。

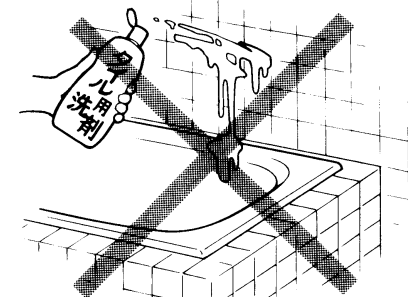
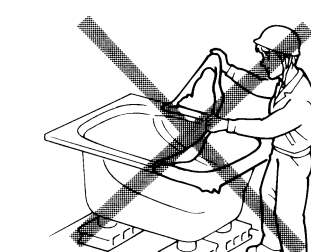
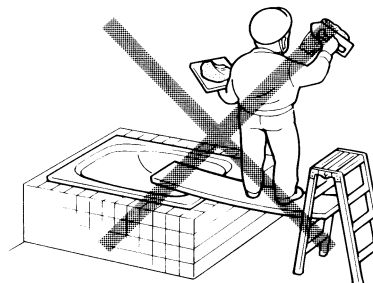
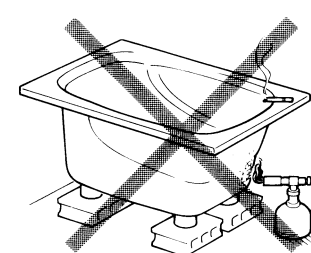
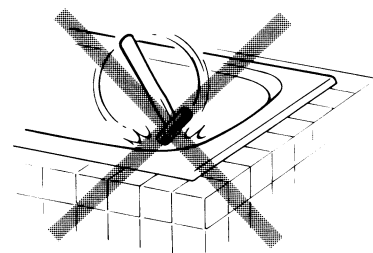
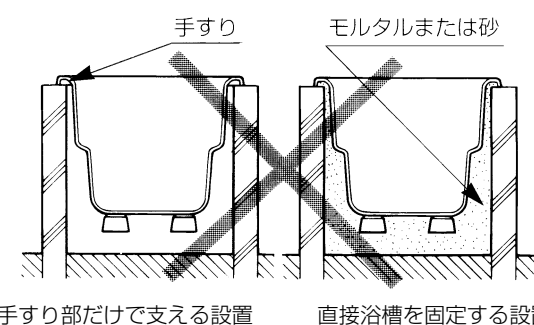
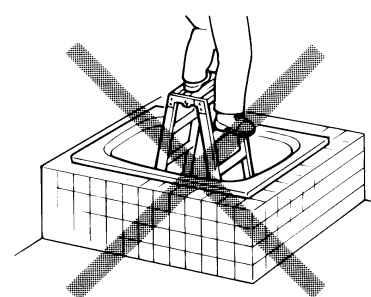


- 排水口の固定がゆるんでいないことを確認してください。
※輸送等でゆるんでいる場合があります。



設置上のご注意

- 絶対に土足で乗ったり、脚立等を浴槽内に立てないでください。
※浴槽が破損したり、表面にキズが付く恐れがあります。
- モルタルや砂で直接浴槽を固定する等、裏面から直接圧力が加わる設置や、手すり部だけで支える設置は絶対にしてしないでください。
※浴槽が破損する恐れがあります。
- 浴槽に硬いものをぶつけたり、工具等を落とさないでください。
※浴槽が破損したり、表面にキズが付く恐れがあります。
- トーチランプの火や溶接の火花、タバコの火等が浴槽に当たらないようにしてください。
※浴槽が破損したり、変色する恐れがあります。
- 浴槽の上部に重いものを載せたり、表面にモルタル等を付着させないでください。
※浴槽にキズが付く恐れがあります。
- 浴槽手すり部の養生シートは、設置が完了するまで、はがさないでください。
※浴槽表面にキズが付く恐れがあります。ただし、手すり部を埋め込む場合は埋込部のシートのみをはがして設置してください。
- 浴槽にタイル洗いの塩酸等を含んだ洗剤をかけないでください。
※浴槽が傷みます。
万一かかった場合は、すぐに水で洗い流してください。



■設置に際して

商品により、手順が異なります。
右表に従って設置を行ってください。

浴槽シリーズ	クリアシオンⅡ	ニュージニアル、イナスバス	洋風バス、大型バス
手順	1→2→3→4→5	1→2→3→5	2→3→5

設置方法

1 循環釜接続用の穴あけ（循環釜を取り付ける場合）

循環釜を取り付ける場合は、循環釜接続用の穴あけを行います。

⚠ 注意

循環釜の取付説明書もお読みの上、正しく取り付けてください。
※取付けが不十分な場合、漏水により家財を汚したり、腐らせる恐れがあります。

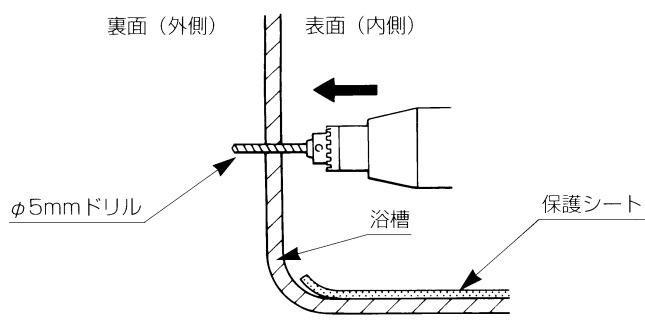
⚠ 注意

洋風バス、大型バスは循環釜の穴あけを行わないでください。
※洋風バス、大型バスは給湯専用です。

①穴あけ位置の確認をします。
別紙の商品図「循環釜穴あけ位置」を参照してください。

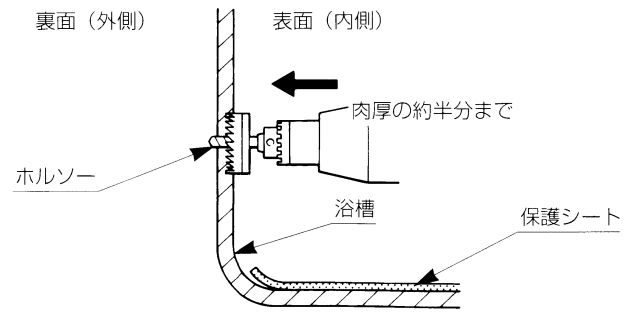
- 穴あけ位置以外に穴をあけないでください。
※漏水の原因となります。
循環釜の取付説明書もお読みの上、穴をあけてください。

②φ5mmのドリルでセンター穴をあけます。



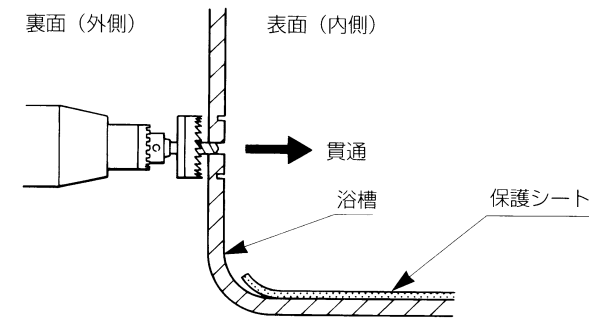
- ドリルはよく切れるものをお使いください。
穴あけ面と垂直にして、強く押し付けず、ゆっくりと慎重に行ってください。
※穴の周囲が破損したり、そこから割れが発生する恐れがあります。

③浴槽表面（内側）からセンター穴をガイドにして、ホルソーで肉厚の約半分まで穴をあけます。

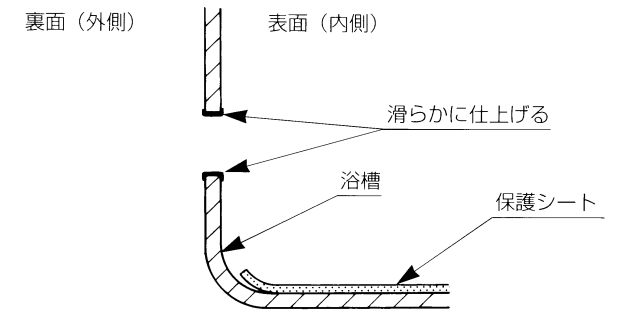


- ホルソー（超硬刃付き）やホルソーのセンタードリルはよく切れるものをお使いください。
穴あけ面と垂直にして、強く押し付けず、ゆっくりと慎重に行ってください。
※穴の周囲が破損したり、そこから割れが発生する恐れがあります。
- ホルソーのセンタードリルが浴槽を貫通した際に、ホルソーが浴槽に強くぶつからないようにしてください。
※穴の周囲が破損したり、そこから割れが発生する恐れがあります。
- 一気に貫通しないでください。
※穴の周囲が破損したり、そこから割れが発生する恐れがあります。

④浴槽裏面（外側）からホルソーにて貫通穴をあけます。



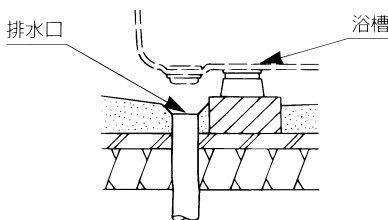
⑤穴あけ後はサンドペーパー（＃150程度）等で穴の切口を滑らかに仕上げます。



- サンドペーパー等で仕上げる際に、浴槽表面（内側）にキズを付けないようにしてください。

2 浴槽の下地作り

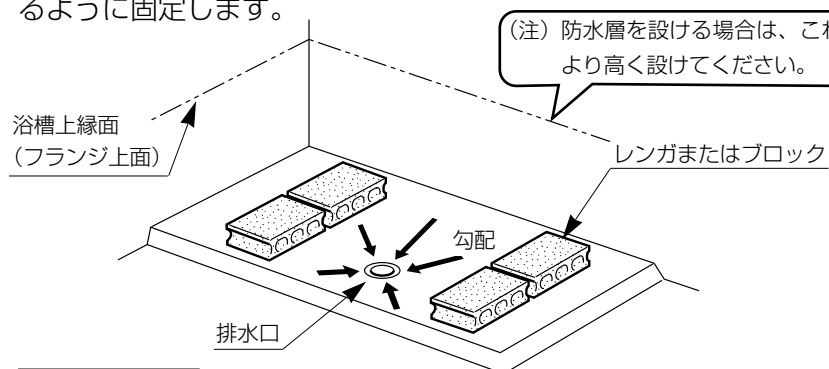
①排水口の位置を商品図で確認し、φ75mm以上の穴を設けます。
※排水は間接排水としてください。



②排水口への排水勾配（1/50～1/100程度）を設けます。

③浴槽脚部の位置を商品図で確認し、土台の位置を決めます。

④浴槽の土台にはレンガ、またはブロックを使用し、上面が水平になるように固定します。



⚠ 注意

2階以上の階に設置する場合や、水漏れによる被害が予想される場所に設置する場合は、必ず防水層を設けてください。防水層の立ち上がりは、浴槽上縁面（フランジ上面）より高く設けてください。また配管取出口は確実に防水処理を行ってください。
※防水工事に不備があると、漏水により家財を汚したり、腐らせる恐れがあります。

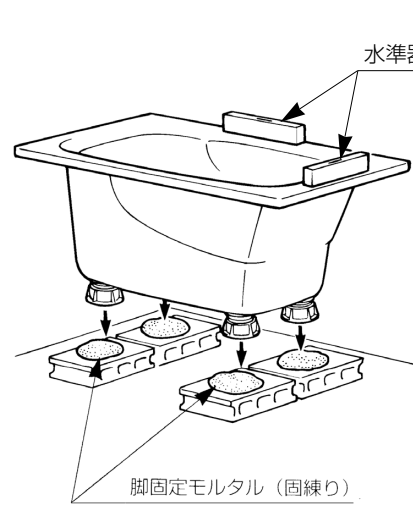
3 浴槽の据付け

①浴槽の土台に、モルタル（固練り）を盛ります。

②浴槽のレベルに注意しながら、徐々に浴槽を押し下げます。

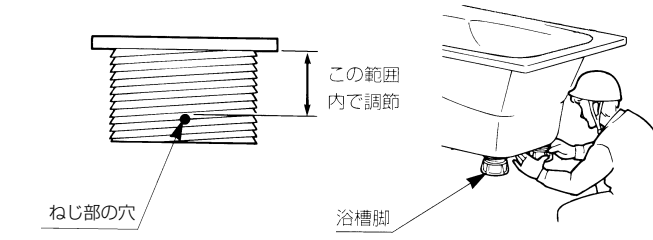
③水準器を浴槽の上面に載せ、水平になるようにします。
※水平になっていないと、浴槽内に水が残る場合があります。

- モルタルが固まるまで浴槽に乗ったり、釜を取り付けしないでください。
※浴槽がかたむいたり、沈下する場合があります。
- モルタルや砂で浴槽を直接固定する等、裏面から直接圧力加わる設置や、手すり部だけで支える設置は絶対に行わないでください。
※浴槽が破損する恐れがあります。



ワンポイント

〔浴槽脚の調節について〕
洋風バス、ニュージニアル（NB-1401MBL(R)、NB-1201MBL(R)、NB-1101MBL(R)）の場合
●浴槽脚は高さ調節が可能です。（1回転で約10mm）
※ただし、ねじ部の穴が見えない範囲で調節してください。



4 水栓金具の取付け（クリアシオンⅡの場合）

バス水栓を取り付ける場合は、水栓金具の取付説明書をよくお読みの上、水栓金具を取り付け、給水管、給湯管へ接続します。配管の接続は、いったん配管点検口を取り外し、配管を接続した後、再度点検口を取り付けます。

⚠ 注意

配管点検口は、水栓金具取り付け後、必ず点検口の周囲にシリコンコーキングをしてください。
※漏水により家財を汚したり、腐らせる恐れがあります。
※シリコンは外から見えないため、透明シリコンをおすすめします。

5 仕上げ（手すり部取合い例）

〔壁付面取合い例〕

⚠ 注意

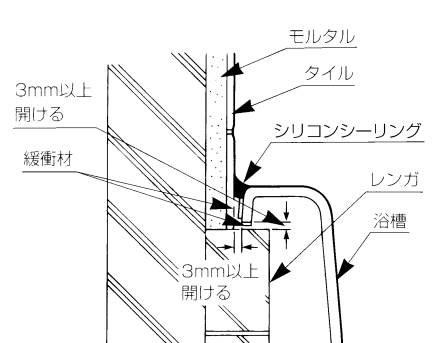
浴槽と壁・タイルの接合部分は必ず3mm以上のクリアランスをとり、シリコンシーリングをしてください。
※設置に不備があると漏水したり、タイルや浴槽が破損する恐れがあります。

- 「設置例2」のように、手すり部を壁に埋め込む場合、埋込寸法は15mm以内（浴槽の両側を埋め込む場合は、両側の合計で15mm以内）
- 「設置例4」のように、手すり部を壁に埋め込む場合、埋込寸法は10mm以内（浴槽の両側を埋め込む場合は、両側の合計で10mm以内）
- ※風呂フタが置けなくなったり、はみ出したりする場合があります。

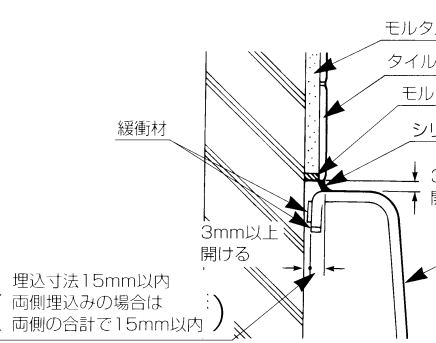
（水切りのない浴槽の場合）

（水切り付き浴槽の場合）

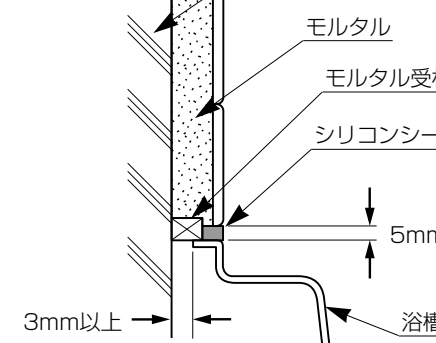
設置例1



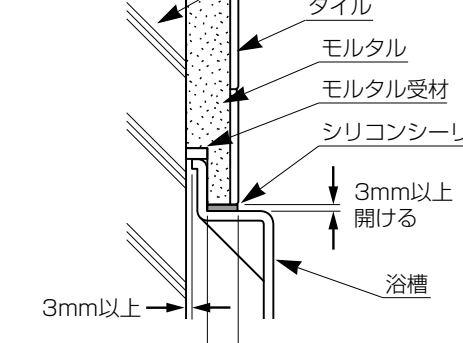
設置例2



設置例3

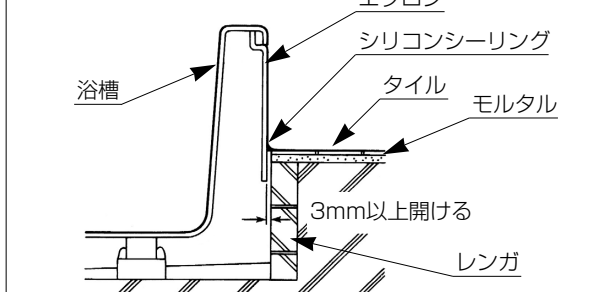


設置例4

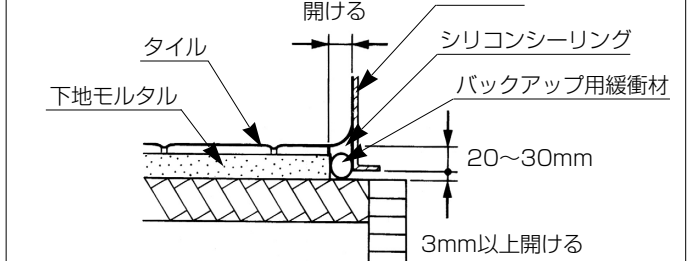


〔エプロン取合い例〕

設置例1



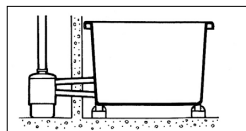
設置例2



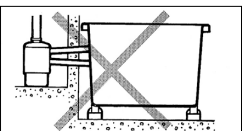
循環パイプの接続例

必ず上部給湯パイプは浴槽に向かって上り勾配に、下部給湯パイプは下り勾配になるように接続してください。
※循環パイプの接続が悪いと、湯の沸き（熱効率）が悪くなるばかりでなく、循環釜に悪影響を及ぼします。

■良い例



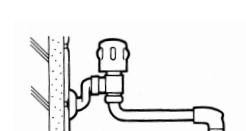
■悪い例



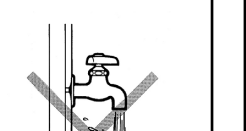
給湯・給水栓の取付例

給湯・給水栓を取り付ける場合は、浴槽の手すり部に湯水が当り、飛び散らないようにしてください。
※長期間使用していると、水質により手すり部に水アカやサビが付着する場合があります。

■良い例



■悪い例



確認

- 清掃**
浴槽内のゴミや異物を取り除きます。
- 水漏れの確認**
給水、排水して循環金具の取付部等より水漏れがないことを確認します。
- 保護**
浴室の全ての工事が完了するまで浴槽全体をダンボール等で十分保護します。
- 引渡し**
取扱説明書により正しい使い方をご説明の上、取扱説明書、保証書（内容記入の上）を必ずお施主さまにお渡しください。